



2026年6月15日

各位

会社名 株式会社アクリート  
代表者名 代表取締役社長 株本 幸二  
(コード番号：4395、東証グロース)  
問合先：取締役経営管理本部長 山本 敏晴  
電話番号 050-5369-3777

## (訂正) 「公認会計士等の異動に関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2026年6月12日付で開示いたしました「公認会計士等に異動に関するお知らせ」において、一部記載内容に誤植による訂正すべき事項がありましたので、お知らせします。

### 記

#### 1. 訂正の理由

「公認会計士等に異動に関するお知らせ」において、一部記載内容に誤りがありました。具体的には、前文及び4. 異動に至った理由及び経緯において、「当社の人的リソース」と記載すべきところ誤って「当社及びフロンティア監査法人の人的リソース」と記載しておりました。また、退任経緯の記述について訂正しております。

#### 2. 訂正箇所（訂正箇所は下線で表示しております。）

##### 【訂正前】

第13期第1四半期（自2026年1月1日至3月31日）に係る第1四半期決算短信提出日以降、当社の業容拡大に伴い、今期以降の重要な会計処理には十分に議論が必要となる中で、監査時間が増大すること、当社及びフロンティア監査法人の人的リソースの関係からも今期以降の監査品質を十分に確保できないリスクが生じるため、契約の継続が難しいとのフロンティア監査法人からの申し入れについて協議を行って参りましたが、この度、今期上半期中のフロンティア監査法人が指定する日をもって、監査契約を終了すると共に会計監査人を退任することで本日合意しました。

##### 【訂正後】

第13期第1四半期（自2026年1月1日至3月31日）に係る第1四半期決算短信提出日以降、2025年12月期より開始した当社の業容拡大に伴い、今期以降の重要な会計処理には十分に議論が必要となる中で、監査時間が増大すること、当社の人的リソースの関係からも今期以降の監査品質を十分に確保できないリスクが生じるため、契約の継続が難しいとのフロンティア監査法人からの申し入れについて協議を行って参りましたが、結果的に契約継続に

は至らず、監査契約を終了すると共に会計監査人 を退任することで本日合意しました。

【訂正前】

4. 異動に至った理由及び経緯

当社が 2025 年 12 月期より当社の業容拡大のためにソリューション事業等の事業領域の拡大に取り組む中で、重要な会計処理のためには十分な検討や議論が必要となっており、当然監査時間の増大となること、それに対応する当社及びフロンティア監査法人の人的リソースの関係から、タイムリーな対応が行えずに、円滑な監査業務につきフロンティア監査法人より、今期以降の監査品質を十分に確保できないリスクが生じる可能性が高く、そのため契約の継続が難しいとの申し入れとなり、これについてフロンティア監査法人との間で協議を行って参りましたが、この度、双方で今期上半期中に監査契約を終了すると共に会計監査人を退任することで合意となりました。

【訂正後】

4. 異動に至った理由及び経緯

当社が 2025 年 12 月期より当社の業容拡大のためにソリューション事業等の事業領域の拡大に取り組む中で、重要な会計処理のためには十分な検討や議論が必要となっており、当然監査時間の増大となること、それに対応する当社の人的リソースの関係から、タイムリーな対応が行えずに、円滑な監査業務につきフロンティア監査法人より、今期以降の監査品質を十分に確保できないリスクが生じる可能性が高く、そのため契約の継続が難しいとの申し入れとなり、これについてフロンティア監査法人との間で協議を行って参りましたが、結果として契約継続には至らず、この度、双方で今期上半期中に監査契約を終了すると共に会計監査人を退任することで合意となりました。

以上のように訂正させていただきましたが、フロンティア監査法人において人的リソースの問題はなかったにも関わらず、当社開示担当者の誤記により、結果として事実ではない記載となったことにつき、訂正し、ここにフロンティア監査法人に対して謝罪させていただきます。

以上